



2025年度 日産自動車 技術ライセンスの取組み

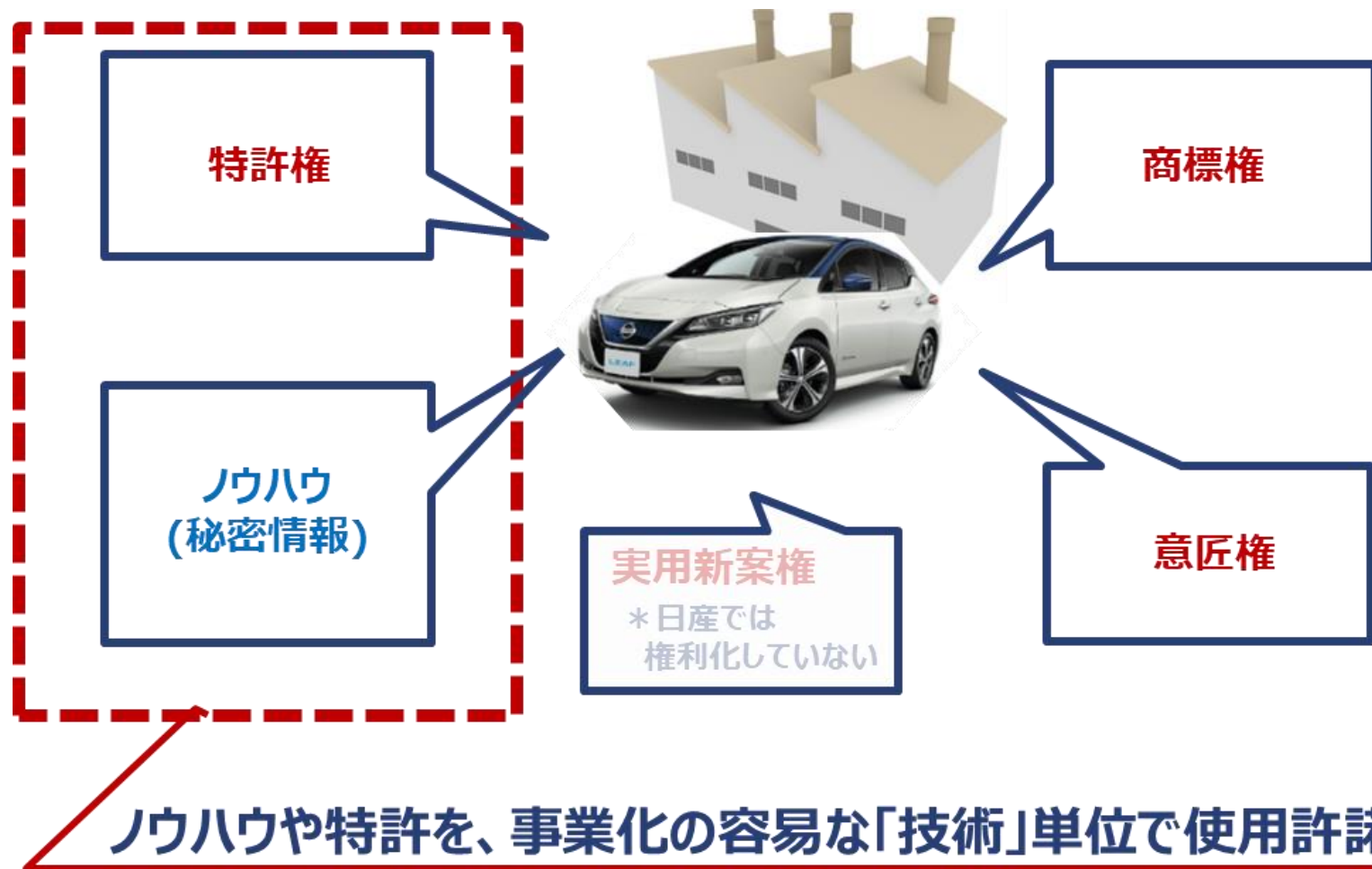
日産自動車株式会社 知的財産部 IPイノベーション・パートナーシップグループ
<http://www.nissan-global.com/JP/LICENSE/>

技術ライセンスGrの歴史



技術ライセンスが取り扱うIP領域

- ノウハウ及び特許の使用許諾
- 権利の許諾に留まらず、ノウハウを中心とした事業化の容易な「技術」単位でライセンス



技術ライセンスGr ありたい姿の定義

< ありたい姿 >

私たちは信頼されるライセンサーとして
パートナーとの連携を通し競争力のあるライセンス製品・サービスを提供する事で
社会の発展に貢献していきます

< 活動の柱 >

ニーズ、シーズの発掘

社内外からシーズとニーズを
幅広く収集し、
ライセンサーおよび、
社内技術部署の期待に応える

自分たちの営業の強化 (ライセンサーの発掘)

営業のさらなる強化を図り、
より多くのお客さまに
日産が開発した製品と
サービスをお届けする

ライセンサーへの支援強化

情報提供などの支援を
通して、ライセンサーの
業績向上や社内活性化に
貢献する

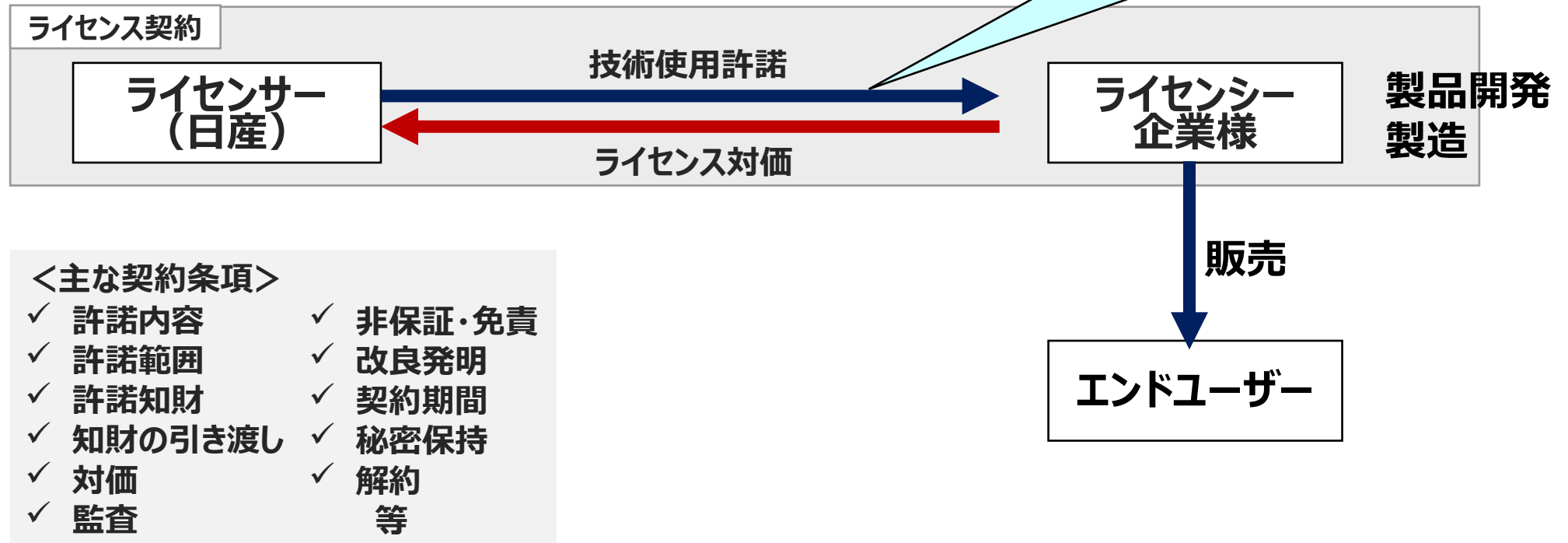
< 行動指針 >

- ・ お客さま（ライセンサー、エンドユーザー）と社会への貢献を第一に考える。
- ・ 提供する製品やサービスは、適正価格で販売するとともに、社内要元に相応の還元をする。
- ・ 社内パートナーの技術ライセンスチーム/業務への理解を促進する。
- ・ チーム内の協力関係、チームワークを重視する。

技術ライセンス契約の枠組み

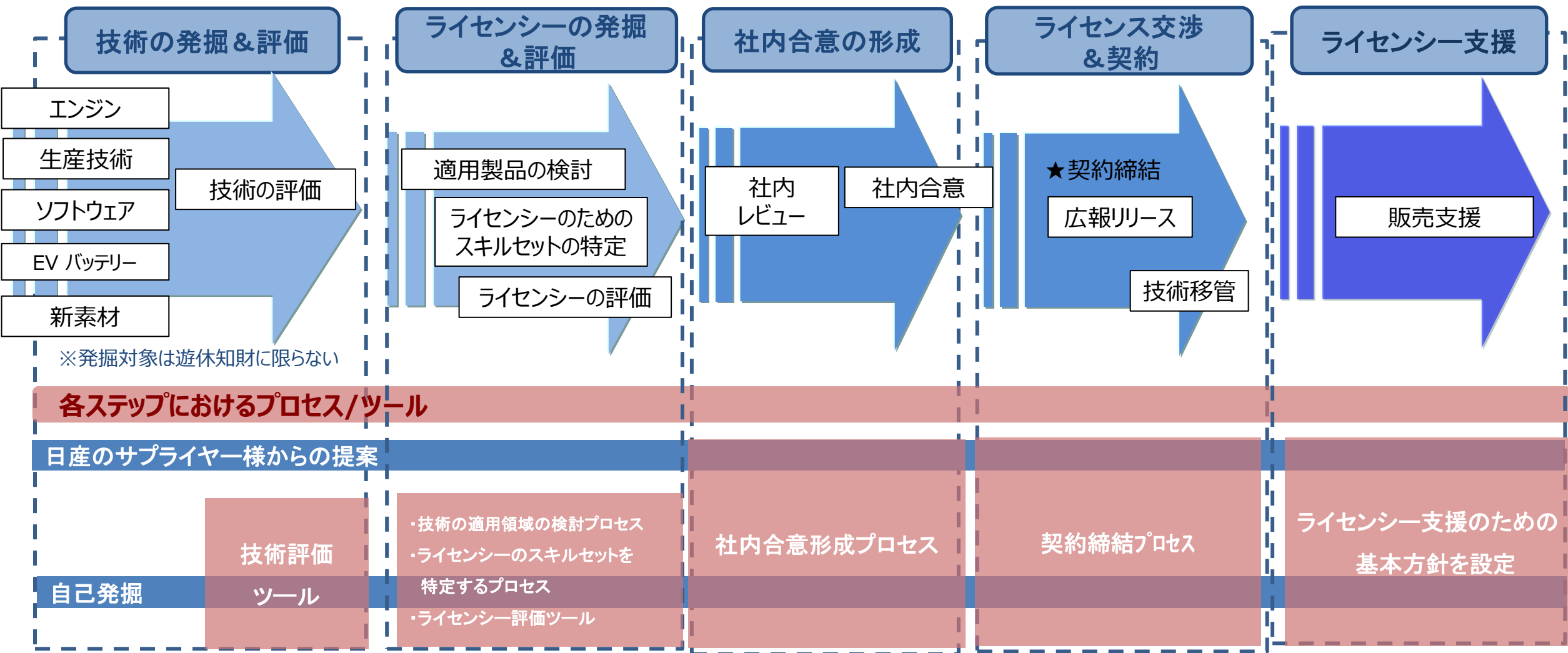
【Licensingの主なメリット】

- ライセンサー
- ： 技術開発費用・期間の短縮
 - ： 実績ある技術の利用
 - ： 自社製品ラインナップ、脱下請け
- ライセンス
- ： 少ないリスクで一定の利益
 - ： 広報活動による取組の外部発信・アピール



技術ライセンスGrの活動範囲

■ 技術の発掘から、ライセンサー企業の支援までのすべてのプロセスを実施します



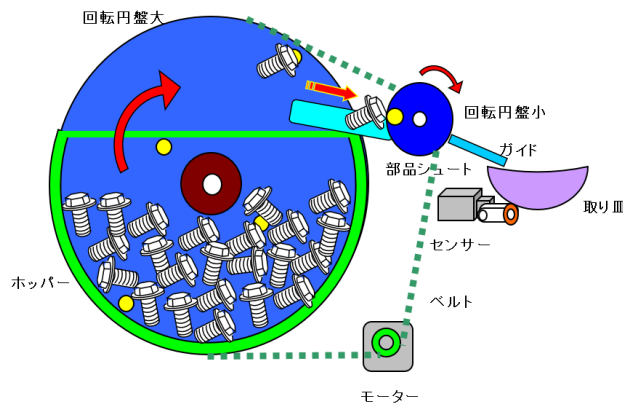
代表的な製品化事例：ボルトナットフィーダー（部品定数供給装置）

- 2013年、川崎市の企業にライセンス。様々なトライアルを通して量産化に成功
- 日産国内外各工場、他社へ販売多数

許諾対象技術



許諾対象元技術



メカニズム概要

技術概要

- ・目的：作業員への部品（ボルト/ナットなど）定量供給
- ・メカニズム：磁石を埋設回転プレートで吸着、カウントしながら供給
- ・効果：カウント自動化による作業効率向上および品質向上
- ・活用場面：ボルト/ナットを使用した部品取付作業

ライセンス製品



ボルトナットフィーダー



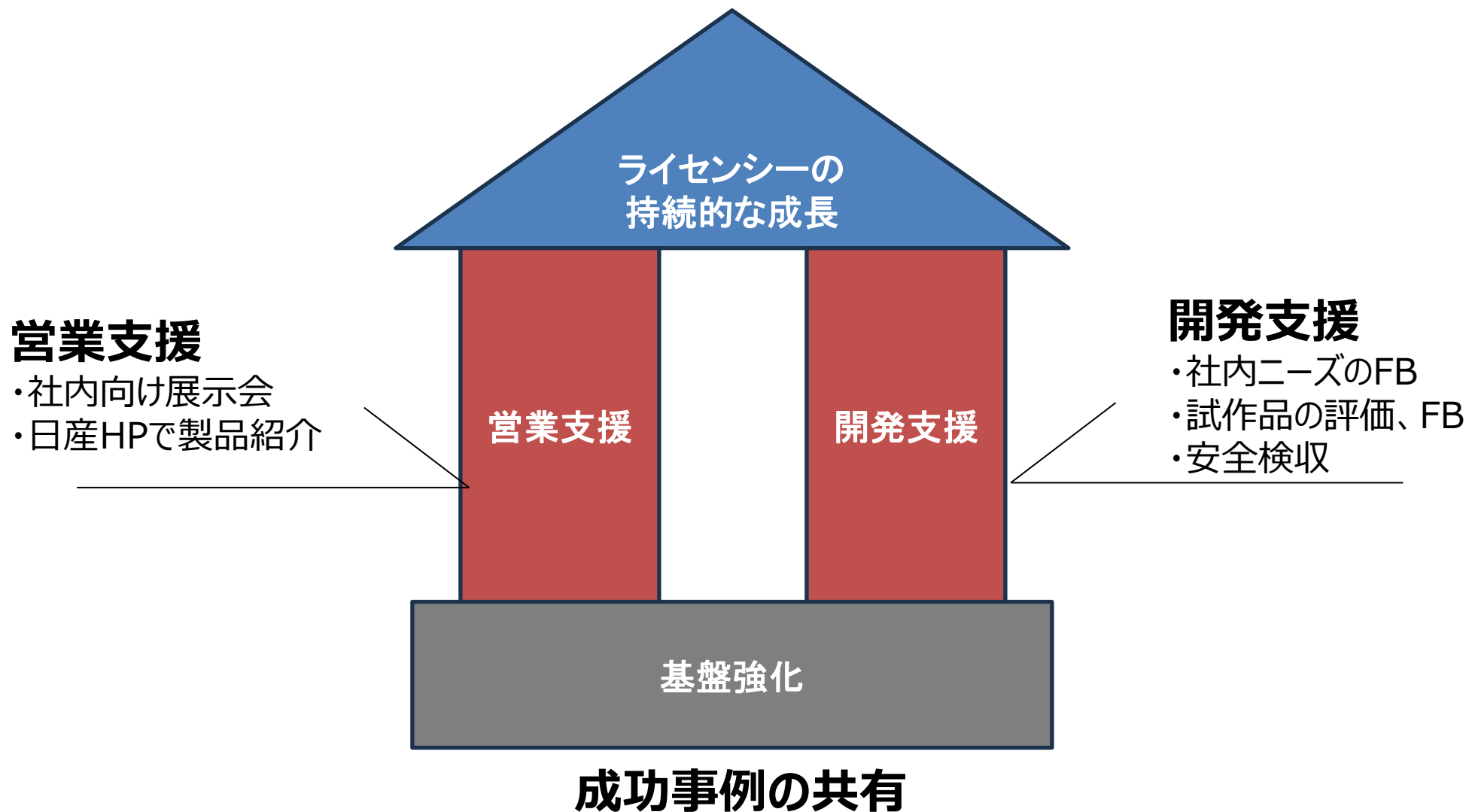
対応部品一例

ライセンス製品化による改良点

- ①様々なワーク（M3～M14）に対応可能、安定したカウントを実現
- ②部品点数削減による小型軽量化、低コスト化実現
- ③PLC連携対応
- ④CE認証取得済み
- ⑤ホッパー容量など、要望に応じたバリエーション展開が可能
- ⑥複数種の部品に対応可能

ライセンサー支援 全体像

- 目的：競争力のあるライセンス製品の拡販を通してライセンサーの持続可能な成長を支援



ライセンス可能技術のご紹介

提供技術リスト

■ FY25提案アイテム

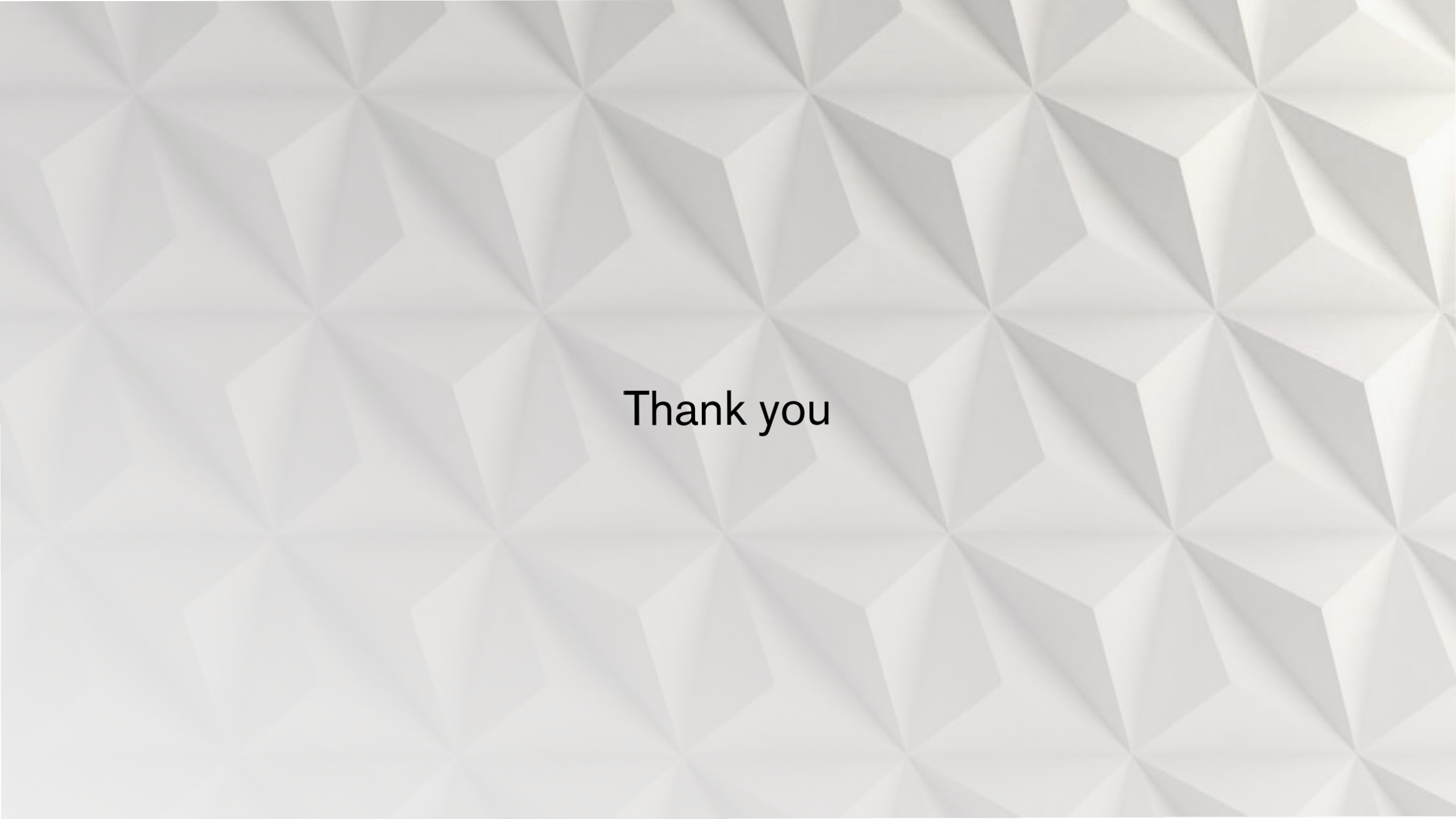
		安全・効率化	
ライセンス技術	からくり技術	No. 1	重筋作業なしで重量物の載せ替え・移動ができる台車
		No. 2	移動式踏み台
		No. 3	よくばり台車(あったらいいなが全部つまってます)
		No.4	動力フリーの回転式バリ除去装置
		No.5	二刀流台車
	マイクロモビリティ	No.6	車いすの後付け電動化デバイス
	除菌技術	No.7	コールドスプレー光触媒膜
	電気機器	No.8	電力変換装置保護システム



New



New



Thank you